



「小中高生の学習用参考書」執筆・編集・制作のプロ
羽根大介（はねだいすけ） / 編集プロダクション
株式会社かえでプロダクション

- TOP
- 取材記事
- 地図

プロフィール



編集プロダクション / 羽根大介プロの一番の強み

教材の執筆・編集の技術、採用に関するノウハウを独自に開発

学校や学習塾で使用している教材の執筆・校正・編集・組版・印刷、入試に関わる教材、各種模擬テストの作成や小中高用のオリジナル教材を開発するとともに、採用に関するアドバイスも行っている。

経歴

膳所高校卒業、京都教育大学出身。在学中に学習塾の非常勤講師で子どもに学びを教えることの楽しさを知る。多くの実績を残して、塾用教材専用の出版社の編集部へ転職。指導経験を活かし、塾用教材で年間5万冊以上ヒットする教材の執筆・編集を行い、編集長へ。教材の制作だけでなく、営業や在庫管理なども学ぶ。もっといろんな教材に関わりたいと思い、「株式会社かえでプロダクション」を2009年9月に設立。また、一方で事業継承により、文字起こしの会社の経営を引き継ぐ。現在、裁判用の文字起こしに強い音声部となり、東京・京都・滋賀・広島・福岡・四国の弁護士会協同組合へ加盟し、さらに範囲の拡大を進めている。

実績

- 模試：小学生～高校生までの学習塾内模試・入試対策模試・適性検査模試・県版対策模試
- 学校参考書・塾専用教材：市販教材・塾内テキスト・学参教材など、その他全教科・副教科にわたりいろいろな執筆中
- 公務員・SPI・就職活動教材：市販教材講座用テキスト・一般常識やSPIなどの就活本
- 2009年1月～12月 月刊私塾界にて、「新指導要領について考える」を毎月連載
- 2010年8月～現在 日本経済新聞社教育情報誌「ducare」寄稿協力
- 2010年12月 月刊私塾界「学習塾白書2010～2011」寄稿協力
- 2011年3月～2012年2月 教育業界関係会社のメルマガ教育コラム毎月連載
- 2011年7月～現在 朝日学生新聞社「きょういく朝日」寄稿協力
- 2011年12月 月刊私塾界「学習塾白書2011～2012」寄稿協力
- 2012年9月 月刊私塾界8月号特集寄稿協力
- 2015年9月 朝日中高生新聞9月号「教材の選び方」寄稿協力
- その他、教育関係会社のコラムなどを担当
- 資格専門学校講師、公務員教数的処理講師、大学非常勤講師、就職活動講座

- （主な取引先）
- 出版社：教科書関連出版社、塾教材出版社、医学学術系雑誌の出版社
 - 学校：私立中学・高校、国公立・私立大学
 - 法曹：関西・中国・四国・九州の弁護士事務所
- 京都弁護士協同組合、滋賀弁護士協同組合加盟(2014年)
- 広島弁護士協同組合加盟(2018年)
- 東京都弁護士協同組合加盟(2019年)
- 福岡県弁護士協同組合特約店、四国弁護士協同組合特約店加盟（2020年）
- 医療機関：関西圏の病院、医学系学会、医師会など
 - その他：官公庁関連、一般企業、マスコミ、業界大手学習塾など

DATA

氏名	羽根大介（はねだいすけ）
会社名	株式会社かえでプロダクション
事業内容	■ 幼小中高塾用教材編集 ■ 学校教材編集 ■ テスト作成 ■ 執筆 ■ 校正 ■ 組版 ■ 印刷 ■ 文字起こし
専門分野	● 学習用教材の編集制作およびアドバイザー
職種	編集プロダクション
住所	〒600-8471 京都府 京都市下京区四条通西洞院東入ル新釜座町716-1 四条平野ビル602
電話	0120-05-3885
営業時間	月～金 10：00～19：00 （メール24時間対応）
定休日	土・日・祝
ホームページ	https://kaede-pro.com/



TOP



取材記事



地図

[羽根大介プロのご紹介](#)

後継者を育て、過去と未来をつなぐ編集プロダクション (1/3)



自身の培ってきた編集技術を次世代に継承

株式会社かえでプロダクションの代表取締役、羽根大介さんは、小中高生の学習用教材を専門とした編集プロダクションを運営しており、学習参考書、教科書に関わるドリル、問題集などの執筆・編集を手がけています。編集部・音声部で構成されており、学参系業界を熟知していることから、その地域の入試問題の傾向分析や情報収集力があるのも特徴です。「自身の培ってきた編集技術を、次世代を担う若者たちに継承していきたい」との思いから社員は全員20代、未経験者採用にも取り組んでいました。

「一般的に本は出版社が作っていると思われがちですが、実際に書いたり作ったりしているのは、編集プロダクションです。編集プロダクションはブラック業界のイメージがありますが、実は働きやすく仕事は面白い。この業界を継承していくためにも、弊社では“自分で書いて制作できる社員”を育てており、外注に頼らず自社内ですべて完結できる点も強みです」

クライアントは主に教育関係の出版社や教育委員会、私立学校、学習塾が大半ですが、業界内でも手腕をふるっていることから、全国の同業他社からの依頼も多いそうです。

「教科書は住んでいる地域によって異なるので、日本全国には数えきれないほどの種類があります。そのため引っ越すと教科書が変わり、教科書が変わると教え方も入試問題も変わってきます。我々はその違いや文科省が目指そうとしていることを把握していますので、全国の進路相談や受験対策についての相談にも応じることができます」

[＜次ページへ続く＞](#)[【次ページ】 全国の子どもたちの方向性を最先端で知ることができる](#)



TOP



取材記事



地図

[羽根大介プロのご紹介](#)

後継者を育て、過去と未来をつなぐ編集プロダクション (2/3)



全国の子どもたちの方向性を最先端で知ることができる

羽根さんは、大学受験時には経営の道を志していましたが、担任の先生から「先生を目指したらどうか」と勧められ、京都教育大学に進学。在学時代から塾講師として小学入試から大学入試までの受験指導を全教科担当しました。その後、塾用教材専門の出版社に入社し、編集の仕事に携わる中、自身の書いた教材が年間5万部以上のベストセラーとなり、編集長に。そんなある日、営業で全国の出版社を回る中、会社によって本の作り方が違うことに気づいたのです。

「最初は他社が全く異なる作り方をしていることに、とても驚きました。自身の編集技術を高めていくには、さまざまな会社の出版に携わることでできる編集プロダクションを立ち上げるしかない、同時に自身の編集技術を誰かに伝えていきたいと思い、2009年9月に独立しました」

業界には塾用教材と学校用教材の2つがあり、独立当初は塾用教材のみを制作していましたが、最初に編集した学校用教材が評価されたことから、現在は塾用教材と学校用教材の両方を扱っています。両方を手がける編集プロダクションとして、それぞれのメリット・デメリットを把握した上でクライアントの要望に応じて制作しています。

「塾講師の頃は、目の前の生徒の成績だけを考えていましたが、教材を制作するようになってからは、全国の子どもたちがどの方向に向かっているのかを最先端で知ることができるようになりました。講師としての経験と、会社経営の夢が叶った今、とても満足しています」

[＜次ページへ続く＞](#)[【次ページ】世界に通用する日本の教育を海外へ輸出していきたい](#)

[TOP](#)[取材記事](#)[地図](#)

羽根大介プロのご紹介

後継者を育て、過去と未来をつなぐ編集プロダクション (3/3)



世界に通用する日本の教育を海外へ輸出していきたい

自分たちで作った問題が世に出て、生徒たちがそれを解き、正解したら合格するかもしれない……そんな人生の岐路に関わっていることを実感したとき、この仕事をしていて良かったと感じる羽根さん。学習指導要領は4年ごとに変更されるため、その度に新しい教科書に準じた教材を制作しますが、「ゆとり教育」「生きる力」など新しい要素が入ってきた際には、まだ世にない問題を生み出すこともあります。そんな中、羽根さんのアイデアで生まれた題材が認められ、現在の教科書の一部に採用されている内容があるそうです。

「教えることだけが教育ではなく、教えるためには当然ツールが必要です。先生には教科書、生徒には宿題用のプリントが要る。教育って必ずどこかでつながっていると思うんです」

羽根さんの目標は、世界に通用する日本の教育を海外に輸出していくことです。

「日本の編集プロダクションは依頼されて制作していますが、将来的にはものづくりを情報発信する側となっていきたい。日本の教育を、英語、フランス語、中国語などいろんな言語で世界に届けていくことが私の最終目標です」

さらには羽根さん自身、一般社団法人コミュニケーションクオーシェント協会の参事をつとめていることから、近年は採用の相談が急増。今後の事業展開として、組織診断、性格診断、個性診断を活用した採用コンサルタントとしての活動も視野に入れています。

「この業界を継承していくためにも後継者を育て、過去と未来をつなぐのが私の役目です。我々がいないと成り立たないこういう小さな業界もあることを多くの人に知っていただきたい。教育における相談や学習用教材に関することなら、是非お任せください」

(取材年月：2020年7月)